



北房小だより



○仲よく助け合う子ども ○めあてをもって学ぶ子 ○元気よく粘り強い子

真庭市立北房小学校 令和8年3月卒業記念号 文責 西村欣也

北房小HP

ご卒業おめでとうございます



3月19日(木)、「北房小学校第8回卒業証書授与式」を行いました。

式には、卒業生の保護者の皆様、在校生代表として5年生、教職員が参列し、卒業生41名の晴れ姿を見守りました。

卒業生の入場、開式、国歌斉唱に続き、卒業生一人一人に卒業証書を授与しました。堂々とした態度で卒業証書を受け取る姿からは、この一年間、最高学年としてがんばってきた自信とたくましさを感じることができました。とても立派な姿でした。

「卒業生・在校生お別れのことば」では、卒業生からは6年間の思い出やお世話になった方々への感謝、在校生に託す思いが語られました。また、5年生からは、卒業生への感謝の気持ちと次は自分たちが最高学年として責務を引き継ぐ決意が語られ、しっかりとバトンが渡されました。

校歌斉唱のほか、卒業生は「変わらないもの」、5年生は「明日へつなぐもの」を歌い、自分たちの思いを歌に託して伝えることもできました。最後は、退場する卒業生を参列者全員の拍手で見送りました。



思い出の教室での最後のひと時、そして、学び舎からの巣立ち

卒業式の後、6年生は、教室での最後の学級活動の時間を過ごしました。保護者の皆様にも、教室に一緒に入っていました。

担任の辻本教諭、高見講師、小林教諭からのお祝いや激励の話を、学級で真剣に聞き入る卒業生の様子が印象的でした。別れを惜しむ時間はとても短く感じられました。感極まり涙を流す児童もありましたが、最後はみんな笑顔で教室を後にしました。

入学以来、6年間通ってきた北房小学校の校舎とのお別れの時を迎えました。児童玄関から出てきた6年生は、5年生と教職員がつくった花道を笑顔で通り、最後の下校をしました。

卒業生を見送るのはとてもさみしいですが、中学校でさらに活躍してくれることを心から願っています。本当におめでとう！

卒業生保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。そして、これまで学校へのご支援をいただきましたことに対して、心よりお礼申し上げます。



「卒業生へのはなむけの言葉」より

学校長から卒業生に贈った「はなむけの言葉」では、6年間の成長の喜び、この1年間、最高学年として学校を引っ張ってくれたことへの感謝を伝えるとともに、これからも北房小学校の学校教育目標である「ふるさとを愛し、未来に向かって輝く子ども」に成長してくれたことへの喜び、さらなる成長への期待を伝えました。

6年生は、本年度、総合的な学習の時間に、「北房の魅力を伝えよう」をテーマに学び、古墳やぶり市などの文化遺産や伝統行事、ホタルやブドウ栽培などの自然環境の素晴らしさなど、地域の方々から学び、様々な魅力についてまとめ上げる姿には、この北房に対する強い愛情、誇り、大切にしていきたいという思いが感じられました。この思いを大切に、備中川を飛び交う北房のホタルのように、卒業生41名には、夢と希望に満ちたこれから進む世界で自分らしい個性の光を放ち、輝やき続けてくれることを北房小学校教職員一同、心から期待しています。

**北房のホタルのように、
自分らしく、未来に向かって輝け！**



全力を出し切った運動会



学習発表会での発表

「6年生を送る会」-感謝の気持ちを込めて-

3月3日(火)、6年生を送る会を行いました。

これまでお世話になってきた6年生への感謝の会を5年生が企画・運営の中心となって行いました。

各学年からは、それぞれ6年生に伝えたいことを歌や呼びかけ、クイズなどにぎゅっと詰め込み、工夫を凝らした出し物を披露したり、プレゼントをしたりしました。6年生からも合奏のプレゼントがあり、短時間でしたが、別れを惜しむ気持ちや感謝の気持ちのこもった、心温まる会となりました。



「菊池賞」をいただきました



6年生を代表とする本校児童に対して、本年度も、北房地域づくり委員会から菊池賞(賞状と副賞の図書カード)をいただきました。

この賞は、1928年から1948年まで旧砦部尋常高等小学校で贈られていたもので、当時は、日本人初の数学者、菊池大麓さんらを輩出した菊池家の寄付をもとに贈られていましたが寄付が途絶えたことで廃止されていました。令和3年度、北房地域づくり委員会のご協力を得て、郷土の偉人を知り、郷土に誇りを持ってもらいたいという思いで再開され、本年度もホタル学習や古墳学習を通して北房地域を学ぶ本校児童に対して賞をいただきました。

副賞は有効に活用させていただき、校内に「菊池文庫」のコーナーを作り、児童が利用できるようにしています。ありがとうございました。